



## 太田和枝先生を悼む

太田和枝先生は、令和3年5月15日にご逝去されました。令和2年の年末からご入院されていることは、お聞きしていましたが2月にお電話でお話しもできましたので、回復されて退院されるものと思っていましたが、悲しいお知らせを受け取ることになってしまいました。太田先生の弟様からお手紙をいただき、安らかな寝顔で大往生でした、と記されていました。

太田先生と初めてお会いしたのは、私が女子栄養大学の学生で受けた授業でした。初めての授業の時の先生の印象は、見た目は小柄でしたが、何かオーラを感じる先生でした。また、いつもペンダントの時計をさされていて、授業時間を気にして授業をしてくださっていたのを覚えています。先生の授業は、実際の給食施設での出来事を交えて講義してくださり、とても楽しかった思い出があります。その後、私は卒研生として、給食管理研究室に所属し、鈴木久乃先生、太田和枝先生のいらっしゃる研究室にお世話になりました。

平成3年4月に、給食管理研究室の実験実習助手として、女子栄養大学に勤務することになりました。その当時、給食管理研究室は1号館の1階にありました。その後、平成7年に太田先生が教授に昇格され、給食管理研究室は、鈴木久乃先生の栄養管理研究室（現在：給食栄養管理研究室）、太田和枝先生の給食管理研究室（現在：給食システム研究室）の2研究室に分かれ、私は太田先生の給食管理研究室の所属になりました。太田先生には、公私ともども大変お世話になりました。太田先生のご自宅にもよく他の卒業生とともに遊びに行かせていただきました。そんな中で、先生からはいろいろなエピソードを聞かせていただきました。少し、栄養大学に来られる前の内容になります。静岡済生会中央病院では、新卒として入職されました。病院と児童福祉施設の両方への食事提供は、とても大変であったとおっしゃっていました。株式会社グリーンハウスでは、今では当たり前となった事業所給食でのカフェテリア方式での食事提供の導入に尽力されました。また、女子栄養大学二部に入学し、勉強と仕事の両立をされていましたが、大学に隣接していた銭湯に行くために学生ロッカーに洗面器などが入っていたそうです。富士厨房設備株式会社（現在：㈱フジマック）では、海外で開発された厨房機器を国産化するため、その機器を入手して分解して仕組みを明らか

にし、新しい機器の開発に尽力されました。静岡英和短期大学時代は、故郷である静岡で栄養士の育成に尽力され、教え子である卒業生の面倒を見られており、結果的に女子栄養大学の学生が静岡で栄養士の実習を行う時にとても助けていただきました。

昭和61年に女子栄養大学に着任されました。太田先生は声楽もされていたので、教室では非常によく声がかかっていました。授業後に研究室に戻れると、必ずお茶とタバコ（そのころは研究室でも喫煙が可能でした）が必須でした。静岡のご出身であるため、お茶の味には非常に厳しかったです。大学での先生は、大学での学生教育はもちろんのこと、学生だけでなく、卒業生の面倒見も非常に手厚かったです。卒業生からの依頼や相談は、就職や転職、講演、厨房新築・改修、学会への発表など様々でありましたが、いつも丁寧に対応されていました。そのため、たくさんの卒業生から頼りにされていました。学内では、学生食堂の移転にも関わられていました。当時学生食堂は、3号館にありました。学生増に伴い、手狭になった学生食堂が現在の場所に移転することが決定し、厨房設備士1級である先生が厨房の設計などを指導されていました。また、文化栄養学科（現在：食文化栄養学科）ができる時にも、実習室や備品選定もされました。研究面では、学会発表では多数の発表をされ、特に実際の給食施設の先生や卒業生の発表の支援をされていました。平成13年度には厚生科学研究の「保育所給食の在り方に関する調査研究」の分担研究者をされました。

学外では、海外の給食施設を視察する栄養士海外研修ツアーを企画されていました。このツアーは、先生が海外の視察先を探して組まれている旅行です。旅行の2/3が研修会、1/3が観光でした。その旅行に私も数回、ご一緒させていただきましたが、内容が濃く、非常にハードなものでした。アメリカやヨーロッパの病院、学校、事業所などの給食施設を視察するものです。時には、厨房機器メーカーを訪問し、その機器を使用して日本食を調理したこともありました。そして、いつも最終日には研修のまとめがあり、その前日はほぼ徹夜でまとめなければなりません。でも、この時にまとめるからこそ、良かったのだと思います。

また、給食施設で働いている管理栄養士も常に勉強をしていくべきだとのお考えのもと、栄養士フォーラムと

いう勉強会を立ち上げ、月1回の勉強会を開催されてきました。そして、この勉強会を発展させて、平成17年(2005年)に現在の「日本給食経営管理学会」が設立され、初代理事長に就任され学会の発展に貢献されました。平成17年に定年退官をされましたが、その後も平成21年まで日本給食経営管理学会の理事長を務められました。退官後は、海外旅行を楽しまれていました。先生はいつも笑顔の素敵な先生でした。また、周囲の人間に活力を与える方でした。そんな先生が大病を経て大往生を

されました。病気療養中も非常に強くふるまわれていました。コロナ禍のこともあり、ご葬儀は、静岡県内の近親者だけで営まれました。お見送りできなかったことは残念でなりません。しかし、これは太田先生が周囲の人を悲しませないようにされたのかとも思いました。きっと、この写真にある笑顔で私たちを見守ってくださっているのだと思っています。ご冥福をお祈りいたします。

女子栄養大学 給食システム研究室 堀端 薫

## 故 太田和枝先生のご略歴

- 昭和9年11月8日生まれ
- 昭和28年 掛川西高等学校卒業
- 昭和28年 金城学院短期大学部家政科食物専攻入学
- 昭和30年 金城学院短期大学部家政科食物専攻卒業
- 昭和30年 静岡済生会中央病院(病院給食、併設児童福祉施設栄養士)(~昭和38年)
- 昭和40年 株式会社グリーンハウス栄養部(~昭和44年)
- 昭和40年 女子栄養短期大学専攻科二部入学
- 昭和41年 女子栄養短期大学専攻科二部卒業
- 昭和44年 女子栄養大学栄養学部二部編入学
- 昭和44年 富士厨房設備株式会社(現在、(株)フジマック)  
コンサルティングルームシステム開発室勤務(~昭和51年)
- 昭和48年 女子栄養大学栄養学部二部卒業
- 昭和51年 静岡英和女学院短期大学食物学科講師(栄養指導、公衆栄養)
- 昭和58年 静岡英和女学院短期大学食物学科助教授(~昭和61年)
- 昭和56年 女子栄養大学研究生(~昭和58年)
- 昭和61年 女子栄養大学助教授(給食管理、同実習、栄養指導実習、フードサービスマネジメント)
- 平成元年 静岡県立大学非常勤講師(給食管理、同実習)(~平成10年)
- 平成7年 女子栄養大学教授(~平成17年)  
社会活動等
- 昭和63年 海外栄養士研修旅行コーディネーター(~平成24年)
- 平成元年 Asia Symposium on Rice and Nutrition (Taipei) 講演  
「New Technology to improve quality rice production」
- 平成元年~ 栄養士会生涯学習講師(埼玉県、千葉県、茨城県、福岡県にて公演)
- 平成3年 女子栄養大学栄養科学研究所委嘱  
・JR新宿ビル社員食堂運営に関する解説指導(土井研究所依頼)  
・事業所給食の品質管理調査(株式会社グリーンハウス)
- 平成4年~ フードケータリングショー シンポジウム企画委員  
栄養士ヘルスケアフォーラムの主催
- 平成12年 厚生科学研究 分担研究者(~平成14年)
- 平成17年 日本給食経営管理学会理事長(~平成21年)